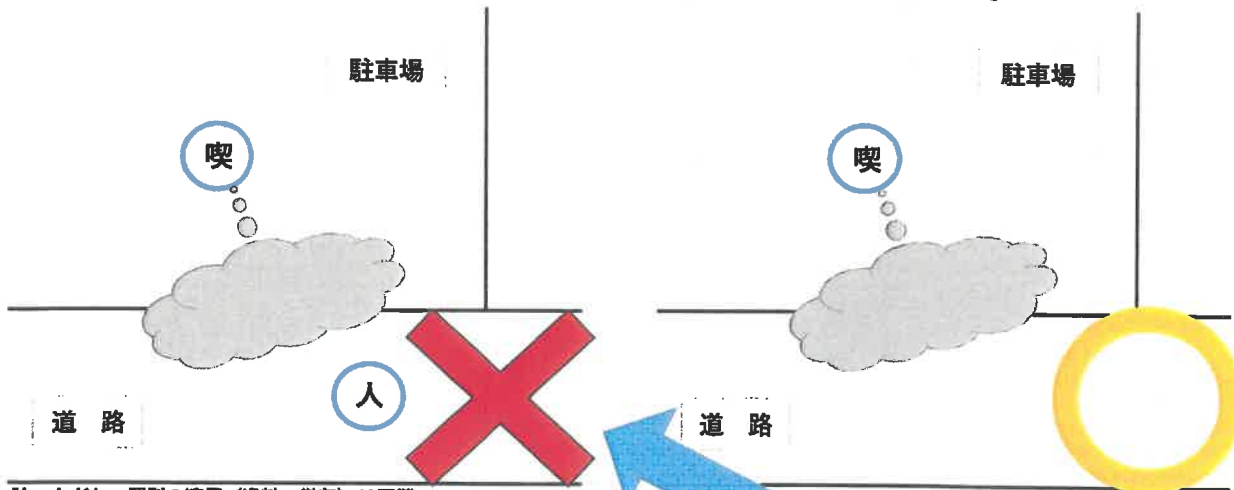


「受動喫煙防止義務」の場合

1. 近くに他の人がいるとき・・・

2. 近くに他の人がいないとき・・・

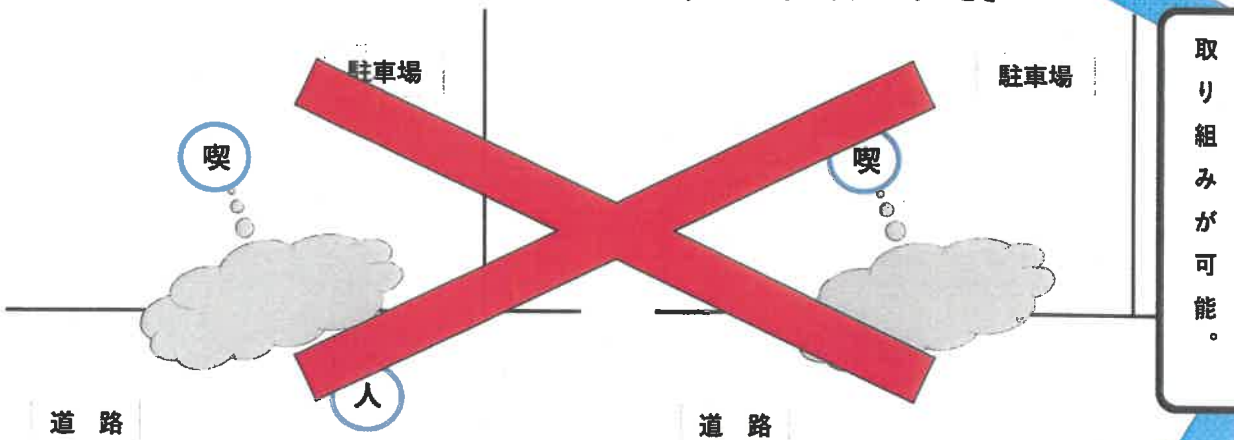


註：ただし、罰則の適用（過料の徴収）は困難。

「喫煙の規制」（喫煙禁止）の場合

1. 近くに他の人がいるとき・・・

2. 近くに他の人がいないとき・・・



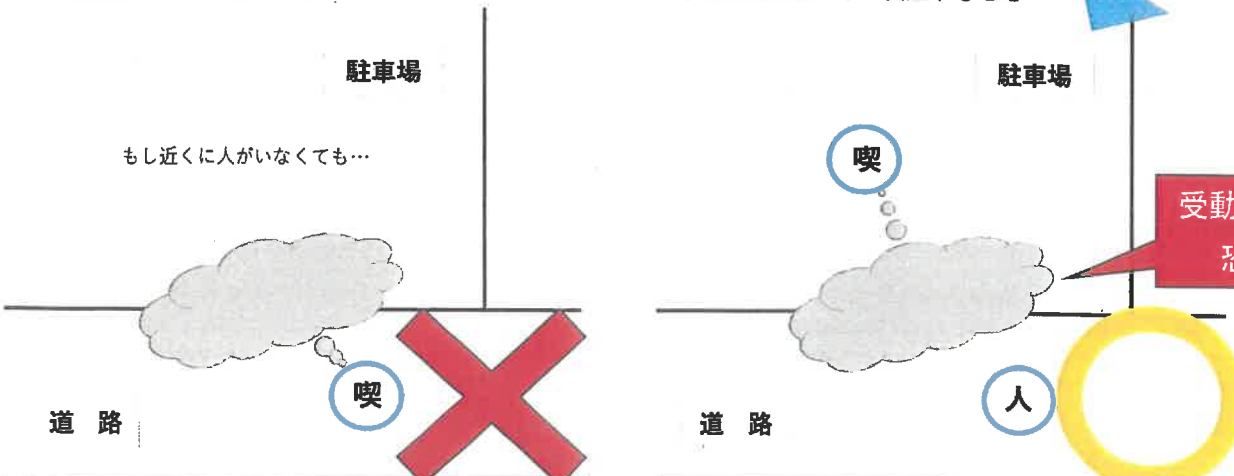
二つのアプローチを併せて行うことで、漏れなく効果的な取り組みが可能。

註：図は、「場所に関わらず」喫煙禁止とした場合のイメージ

註：図は、「場所に関わらず」喫煙禁止とした場合のイメージ

A. 禁止区域の中で喫煙するとき・・・

B. 禁止区域の外で喫煙するとき・・・



註：図は、「公共の場所」を喫煙禁止とした場合のイメージ

註：図は、「公共の場所」を喫煙禁止とした場合のイメージ